

第3回高専 防災減災 コンテスト

最終審査会

高専生のプレゼンテーションが直接聞けるチャンス！

2024.12.22 (日)

開催時間 | **11:30-16:00** **参加無料**

会場 | **一橋大学一橋講堂**

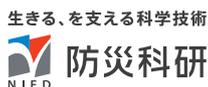


上記QRから参加申し込みをお願いいたします

高専防災減災コンテストは、高専生が培ってきた技術や知見を地域の防災力・減災力向上に役立てる可能性にチャレンジする取り組みです。今年度の第3回高専防災減災コンテストでは、全国の高専から38チームの応募がありました。最終審査会では、書類審査を通過した10チームが、試作、実験、ステークホルダーへのインタビューなどを通して、自ら提案したアイデアについて検証を行った成果を発表します。表彰は、最優秀賞に相当する文部科学大臣賞をはじめ各主催者賞等が贈られます。活動を通じて、高専生は成長し、アイデアは磨かれて変化していきます。ぜひご来場いただき、高専生が抱く「防災」への熱き思いを感じ、高専生を応援してください。

最終審査会出場チーム

- 1 沖縄工業高等専門学校**
災害時孤立地域の情報架け橋
アドホック防災ヘルメットの開発
- 2 沼津工業高等専門学校
福島工業高等専門学校
石川工業高等専門学校
福井工業高等専門学校
奈良工業高等専門学校**
高専間防災ネットワークのナレッジトランスファー
が生み出す避難訓練
- 3 岐阜工業高等専門学校**
～津波避難の新常識～
複合災害を乗り越える避難マップの作成
- 4 函館工業高等専門学校**
船外機を発電機へ～被災地でデンキを～
- 5 福島工業高等専門学校**
「防災って何？」をゼロに！～縦と横で学ぶ防災～
- 6 石川工業高等専門学校**
長期避難のストレスの低減をめざした
生活空間づくり
- 7 奈良工業高等専門学校**
ぼこぼこまっぷ～触って分かる！あなただけの
セーフティルート！～
- 8 新居浜工業高等専門学校**
防音イヤーマフ おとな紙さん～
- 9 明石工業高等専門学校**
だうでい～doubting disaster～
- 10 鹿児島工業高等専門学校**
SDG'sに配慮したシラスの改良



【主催】独立行政法人国立高等専門学校機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人国際科学振興財団
【後援】文部科学省、一般社団法人全国高等専門学校連合会、日本放送協会
【協賛】応用地質株式会社、株式会社関電工、三菱電機エンジニアリング株式会社

お問合せ

国立研究開発法人防災科学技術研究所
高専防災減災コンテスト事務局

info-kosencon@bosai.go.jp



最終審査会プログラム

11:30～

開会・主催者挨拶・コンテスト趣旨説明

11:40～

各高专チームからのプレゼンテーション

- 1 沖縄工業高等専門学校
災害時孤立地域の情報架け橋
アドホック防災ヘルメットの開発
- 2 沼津工業高等専門学校
福島工業高等専門学校
石川工業高等専門学校
福井工業高等専門学校
奈良工業高等専門学校
高专間防災ネットワークのナレッジトランスファー
が生み出す避難訓練
- 3 岐阜工業高等専門学校
～津波避難の新常識～
複合災害を乗り越える避難マップの作成
- 4 函館工業高等専門学校
船外機を発電機へ ～被災地でデンキを～
- 5 福島工業高等専門学校
「防災って何？」をゼロに！～縦と横で学ぶ防災～

12:55～

休憩

13:10～

- 6 石川工業高等専門学校
長期避難のストレスの低減を
めざした生活空間づくり
- 7 奈良工業高等専門学校
ぼこぼこまっぶ～触って分かる！
あなただけのセーフティルート！～
- 8 新居浜工業高等専門学校
防音イヤーマフ おとな紙さんー
- 9 明石工業高等専門学校
だうでい～doubting disaster～
- 10 鹿児島工業高等専門学校
SDG'sに配慮したシラスの改良

14:25～

ポスターセッション

15:00～

表彰式・講評・閉会



メンター活動とは？

メンターとはコンテストに参加する高专生に対して、問題解決をサポートする防災の専門家です。防災科研をはじめとする研究者達が経験と知識のもとに、各チームが取り組む課題に対するアドバイスとして、過去事例やステークホルダーの紹介などを行います。しかしながら、高专生のアイデアは非常に独創的で先進的なものばかりですので、メンターもタジタジです。アドバイスをするというよりも共に考える。むしろ、新たな着想を学ばせていただいております。普段はなかなか得られない交流を楽しんでいます。高专生ならではの新しい防災減災アイデアは、メンター自身の活動にも刺激となっています。(防災科研 客員研究員 阿部)

第2回高专防災減災コンテスト最終審査会の様子

第2回コンテストの最終審査会は、2024年2月29日、茨城県つくば市にある防災科学技術研究所において開催しました。参加した10チームは緊張しながらも個性豊かなプレゼンテーションを実施。ポスターセッションでは、参加者や他の高专チームと交流を深めました。



文部科学大臣賞 受賞校の紹介 和歌山工業高等専門学校 ロボット先生をプログラミングで動かして学ぶ防災学習

企画概要 小学校において、「防災」は2020年度から必修化されたが、科目化されていない。そのため、学習に対する動機づけは特に大切であり、小学生が興味を示すような教材の開発が重要である。防災学習というと堅くて、特別な授業というイメージがある。しかし、文部科学省は、既存の科目や総合学習などで学習させることを求めている。本企画は、プログラミング学習の要素を取り入れて、生徒がゲーム感覚でロボットの動きをコントロールしながら、土砂災害について楽しく学習できる教材を開発し、実践を通じてその効果を計測した。

受賞コメント 取り組みの中で大変なこともあったのですが、このような賞をいただけて頑張ったよかったです。メンターの皆様、ステークホルダーの皆様、研究室でお世話になった辻原先生、ご協力いただきましてありがとうございました。昨年に引き続き文部科学大臣賞を受賞することが出来て、本当に良かったです。昨年は後輩が受賞していて、受賞結果を聞いて憧れていたのが、今年は自分が受賞出来て本当に嬉しいです。ありがとうございました。



高专防災減災コンテストは、高专生が地域の防災減災に関わる課題と向き合い、それを解決する技術のアイデアとその検証過程を競う取り組みです。書類審査を通過したチームは、防災科研の研究者や関係する機関から参加したメンターと共にアイデア検証活動を行います。コンテストの醍醐味であるアイデア検証活動では、高专生は地域の課題解決やアイデアの社会実装を目指し、技術開発、ステークホルダーへのインタビューなどを実施しています。最終審査会では、学生たちがアイデア検証の成果を発表し、ポスターセッションの時間には、参加者と高专生が活動の過程や結果について意見交換できる機会があります。このコンテストでは、アイデア検証活動費や最終審査会参加旅費の支援を行っております。企業・団体の皆様、協賛金などコンテストへのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。詳細につきましては、コンテスト事務局までお問い合わせください。